

# 宍道湖流入・流出水調査月報

(平成13年10月期)

## 水質概要

10月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層19.9、中層19.9、下層20.0)と比較してほぼ平年並の変動であった。図1に示すように、10月の水温変動は22~18で変動しており、下旬に向かうにつれ徐々に水温下降が見られた。10月15日以降は、上層・中層・下層ともに2~3の低下が見られた。水深による顕著な差異は見られなかった。高塩分水流入時に中層・下層の水温が1程度上昇していた。このことは、大橋川を通じて中海からの湖水が流入していることを示す。

10月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層6.7psu、中層9.0psu、下層10.1psu)に比べて、若干低い値での変動であった。また、10月観測においては、高塩分水の遡上は周期的に確認されたが、15psu以上の高塩分水の流入は2日しか観測されなかった。

10月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・中層・下層ともに4.9~6.5mg/lの変動であった。(平均値:上層5.6、中層:欠測、下層:5.6mg/l)。顕著な貧酸素水の流入は、見られなかった。図1に示すように、10psu以上の高塩分水の流入時に溶存酸素濃度の低下が見られた。

表1 10月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		(°C)	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	21.5	4.7	欠測
	中層	21.6	5.5	欠測
	下層	21.5	6.2	欠測
中旬	上層	20.1	3.9	6.5
	中層	20.2	4.8	4.9
	下層	20.2	5.5	6.1
下旬	上層	18.5	4.7	6.5
	中層	欠測	欠測	欠測
	下層	18.6	5.4	6.2
月間平均 (10月)	上層	20	4.5	5.6
	中層	20.6	5.1	欠測
	下層	20.1	5.7	5.6

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

## 水質

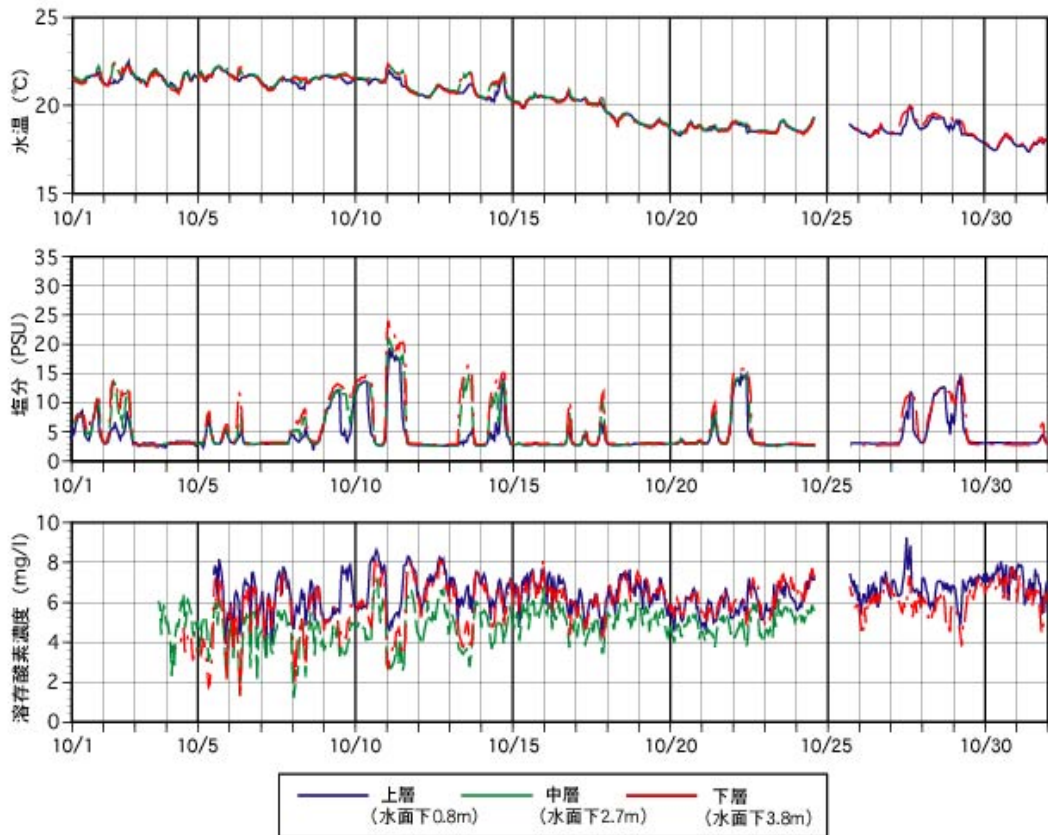


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

## 気象概況

図2に示すように、10月の顕著な気圧変動は、10月1日、10日および28日において急激な低下が見られた。全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1014.1hPaは、平年値（平年値1018.0hPa）と比較して若干低かった。表2に示すとおり、10月の日射量は、0.0628MJ/m<sup>2</sup>であり、9月と比較して若干低い値を示していた（9月平均値：0.0878MJ/m<sup>2</sup>）。10月の風向・風速については、機器メンテナンスのため欠測としております。

表 2 10月期の気象概要

	気温 ( )	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m <sup>2</sup> )
上旬	19.6	1011.5	欠測	欠測	0.0841
中旬	17.3	1014.8	欠測	欠測	0.0591
下旬	16.2	1015.8	欠測	欠測	0.0468
月間平均 (10月)	17.6	1014.1	欠測	欠測	0.0628

( 平年値は、平成 13 年気象の暦 ( 山陰版 ) ( 財 ) 日本気象協会中国センターより引用 )

( 表中の数字は、平均値を示す )



図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

### 流況

10月の平均東方流速は、上層 11.5cm/sec、中層 14.2cm/sec、下層 13.4cm/sec であった。

10月の東方流速は、潮汐による往復流は見られ、高塩分水遡上時に中海から宍道湖へ向かう流れが卓越していた。

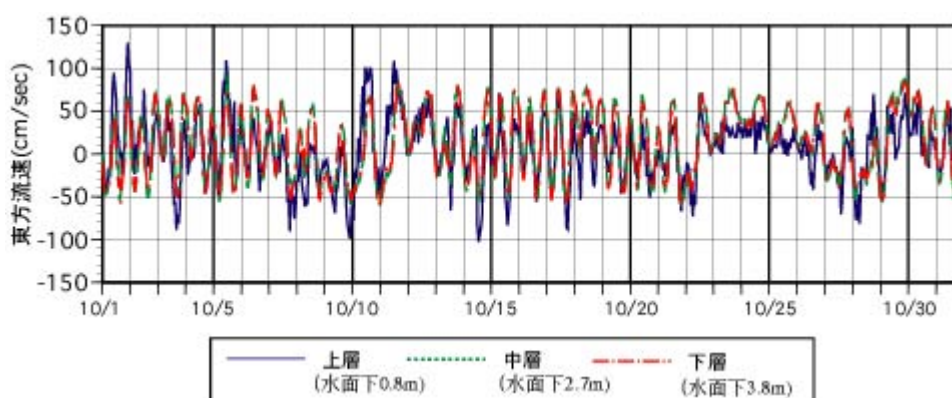


図 3 東方流速の時系列変化